広報 てらどまり

新潟県三島郡寺泊町

寺泊町役場発行

編集：総務課広報係

全世帯もれなく配布

昭和38年10月20日発行 No. 27

11月のこよみ

- 赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）
- 法の日（10月1日～7日）
- 秋の全国交通安全運動（10月11日～11月20日）
- 電信電話記念日（10月23日）

海一万七千㎡をうめ立

片町波よけ工事

↑ ピストン輸送で土運び片町ウラ海埋立（松沢町方面を望む）

このほど寺泊地内片町地先海（余市の漁船の荷揚場を設けた海）中80米位ところに三大な護岸が派ものであります。これによってできあがり、8月6日遊覧船の成功裏に終れました。

これは昭和38年度よりの5ヶ年計画ではじまった、離岸堤築造工事（波よけ）の一部で工費4千万円、延長510mでこの外30近く広さとした町有地が出現する。

この埋立地には、町営で佈おそれが、家の中まで洗日8台のダンプカーのピストン輸送で町のブルドーザが活やく堤築工事を行なっていますが、

シーズンになると高潮になるこの海一帯です。いままでこの地域は家のすぐ裏が海のため、台風で被害が多かったのです。また埋立地に

ている海一帯です。

ある海岸線は、地元の要望した一しものこたわれ、雨の方（松沢町）に向って、ぐんぐん護岸の延長が

は巾員18mの無線道路もつけられるので、一本道の寺泊もこれで交通渋滞の緩和にかられ漁町から上荒町の間道（現在二千百m）でも一回近くものとなって来ました。保倉工事（波よけ）は今年も引続き

ない、地元の要望した一しものこたわれ、雨の方（松沢町）に向って、ぐんぐん護岸の延長が

ありますが、また埋立地に

町会議員の研究視察だより

町議会議員が7月、9班にわかれて外14名で、窯石・柏崎鉱業所・城鳥島の人工島（ここは海中のところ）や、日下地区海上の油とガス会社などを廻って見ました。

一班は団長、足立茂八さん、江口港と四日市といずれも、工業港と港湾立地条件を考慮して積極的に進めるようにとのことであった。

第2班は、早川健蔵さん団長12名で、高岡市の日本ゼオン工場と、伏木港や、滋賀県浅井町の事業所を主体にねらいを持った。

どちらも、工場誘致関係の調査をやってこれは今年度の町議会の終了後、報告会の終了後、報告会の終了後、報告